



イベント Calendar 7月~9月

夏のイベントも「生活支援センターきまっしー」では、障害者生活支援・地域交流事業として様々な企画をしてきました。特に今年で3回目になる「まじわるde夏まつり」は、地域のイベントとしても定着できるよう取り組んでまいります。

障がいのある人も住み慣れた街で安心して暮らせる...ご興味のある方は、ぜひこの機会にご参加ください。

- 7月 5日 (木) まじわるdeトーク (宮前市民館)
- 7月 21日 (土) まじわるde夏まつり
- 8月 25日 (土) まじわるdeワークショップ
- 9月 1日 (土) まじわるdeトーク
- 9月 6日 (木) サポーター養成講座
- 9月 20日 (月) まじわるdeまなぶ (身体)



出張...しょうがい者サポーター養成講座 宮前区赤十字奉仕団



平成30年6月11日(月) 13:30~15:00、宮前区赤十字奉仕団の依頼を受けて宮前保健所集会所にて「しょうがい者サポーター養成講座」を行いました。

当日は雨でしたが、24名の参加がありました。

開催に際して宮前区赤十字奉仕団委員長の北野氏より、区内においても障がいの人たちに対する視野を広めてほしい等、障がい者理解に繋がるサポーターの役割を知ってほしいといったご挨拶がありました。

講座では、しょうがい者サポーターが何故必要なのかを説明。障がいについて「知る」ことで、気付くこと。配慮すること。

周りの人に声をかけることの大切さを伝え、障がいのある人も住み慣れたまちで暮らしたいという気持ちは誰もが持っていること。しかし安心して暮らしていくためには不十分なことも多く何らかの支援を必要としている人がたくさんいるという実情を伝えました。

その上で私たちが「しょうがい者サポーター」としてできることとして、声をかけたり、話を聞く時のポイントや手をかす時の配慮について等お伝えしました。またサポーターは、何か手う事ではなく見守ることも立派なサポートの一つであることなどをお話しました。

講座を終えて、ほとんどの受講者が「しょうがい者サポーター」として登録していただきました。ありがとうございます。

街中で「サボちゃん」マークを付けたキーホルダーが当たり前のように見かけられるよう私たちスタッフも講座等を開催し障がい理解をいただくよう引き続き取り組んでまいります。また障がいのある方も、このマークを見かけたら安心して声をかけてもらえるような周知活動にも取り組んでまいります。

うちでも障がいのある方との関わりを学んでみたいという団体などがありましたら、ぜひお問合せください。



【編集後記】

今号の季刊紙はいかがでしたでしょうか。

この季刊紙が皆さんのお手元に届くころ、きまっしーはすでに夏まつりの準備に忙しく動き回っている事でしょう(*^_^*)

今回は、絵画も夏のイメージで...特集コーナーも宮前連絡会の活動を挙げてみました。障がいに関わる活動団体をこれからも取り上げていきたいと思っておりますので、情報がありましたらぜひきまっしーまでご一報下さい。

障がいのある方もない方も、共に暮らせる地域社会を目指しています。

皆さまのご声援・ご協力...引き続きよろしくお願い致します。

発行日：平成30年7月1日
発行元：社会福祉法人みのり会
生活支援センターきまっしー
連絡先：宮前区馬場6丁目10番33号
まじわる宮前2階
TEL 044(855)1011
FAX 044(855)1022
kimassi@tobe-kobato.or.jp

季刊 きまっしー
夏号

Vol. 8

<https://www.facebook.com/kimassi.kimassi/>



【海水浴】

久野 保子 さん (生活介護 いぬくら)

いぬくらのオリジナルキャラクターである「くらぞー」「サンタさん」「トナカイ」をメインに季節感あるイラストを描いてくれます。その他にも鳥やソウなど、可愛らしいキャラクターがたくさんいます!

どの作品も可愛らしく、完成度が高い為、地域にも彼女の作品に魅了された多くのファンがいます。(*^_^*)
また余暇活動では、得意のダンスをしたり、カラオケをしたりと、日々の活動を楽しんで過ごしています。

平成30年度 まじわるde〇〇のイベント開催報告です。

...de(ド) トーク
4月14日(土) 13:00~15:00
*13名が参加されました。
自己紹介を中心に、それぞれが障がい歴や経緯などを何事もなかったかのような雰囲気でもトークが弾みました。また新しく参加された方もおり「ベースが弾きたい。」「絵画やゴスペルを趣味としている。」など気軽に話せる雰囲気が...de(ド) トークの魅力かもしれませんね(*^_^*)

...deフラワー
5月19日(土) 13:00~14:30
講師：八木 美穂 様
*障がい者・地域・職員含め9名でフラワーアレンジメントを楽しみました。
直接花や枝に触れて楽しむ。自然のままの姿を活かした主旨でのアレンジメントは、それぞれのオリジナリティーに溢れた花束ができあがりました。

サポーター養成講座
6月5日(火) 13:30~15:30
*2名が参加しました。
講座を終えた参加者から、中途障がいになった人が上手く自分を発信できないかもしれない。障がいが見えない人の方が、本当は困っているのかもしれない等といった声が聞かれました。また彼らの発信に対しての対応方法などが挙がっていました。

...de(ド) トーク
6月9日(土) 13:00~15:00
*8名が参加しました。
2グループに分かれて黒ひげゲームやトランプゲームを行いました。最後は参加者全員でバドミントンを行い会場内では誰がジョーカーを持っているのか表情を伺いながらの心理戦となり終わった後は口々に歓喜が飛び交っていました。
次回は、9月1日(土)です。
皆さまの...de(ド) トークをお待ちしております。

...deまなぶ：知的障がいについて
6月19日(火) 13:30~15:00
講師：白田瑛里氏 (川崎市障害者更生相談所南部地域支援室)
*14名が参加しました。
知的能力、適応能力が低いということは、どのような不自由さの中で生きるのかの理解をビデオや不器用体験を繰り交ぜながら学びました。その上で障がいをお持ちの方と接するうえで配慮したいこととして、成功体験の支援、傾聴、環境調整、周囲のフォローなどが大切であるということ学びました。
終了後、参加者のアンケートから、彼らの生き辛さが初めて分かった。優しく支援することが大切なことなど、有意義な講座だったことが伺えました。



第3回 まじわーるde夏まつり

(まじわーる de 夏まつり) 開催のお知らせ!

平成30年7月21日(土) 10:30~14:30
会場:まじわーる宮前 1階/2階あーる工房

恒例のお楽しみ企画・・・

地場野菜販売 / 無料浴衣レンタル / 秀麗会盆踊り / カフェ (コーヒーetc)
屋台 (たこ焼き・焼きそば・かき氷etc) / ヨーヨー釣り / すいか割り
障がい・高齢よろず相談 / 健康チェック / ミニマッサージ
障がい者福祉施設自主製品販売 / みのり会美術部絵画展

今年の NEW ぞー押し企画・・・

*ワークショップ (水引き / ハーバリウム) 【あーる工房2階】
*ミニ演奏会 (吹奏楽・オカリナ・三線) 【地区会館 会議室】
*フリーマーケット【駐車場】 *多肉植物【駐車場】

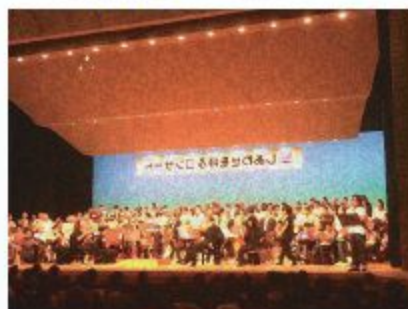
皆さまのご来場、お待ちしております!



今年も宮前兄妹
が夏まつりに遊
びに来てくれ
ます。
!(^^)!

区内で活動する福祉団体の紹介コーナーです。

宮前障がい者施設・作業所等連絡会 通称:宮前連絡会



【しあわせを呼ぶコンサート】

「幼いころに聴いて感動したベートーヴェンの『第九』を原語で歌いたい」という障がい者施設に通う一人の男性の想いを受けて、宮前連絡会や区内在住の音楽家の協力によって2000年に『しあわせを呼ぶコンサート』は始まりました。

今日では宮前区が主催を担い、楽団もレジーナ・チェリー芸術振興会から神奈川フィルハーモニー管弦楽団へと引継ぎ、地域の市民合唱団と一緒に宮前市民館の大ホールで障がいを持つ人たち誰もがが思い思いに歌声を奏でるコンサートに育ちました。

今年度は9月4日(火)に第19回目を迎えます。



【ロビー & ギャラリー展示】

区内の障がい者施設からオリジナルの展示品や活動の様子などを宮前区役所ロビーや宮前市民館ギャラリー会場などをお借りして紹介しています。

【ご挨拶】平成30年度会長 松浦悦子氏
(地域活動支援センター 宮前ふれあいの家 施設長)

宮前連絡会は、平成11年から開催され、知的・精神・身体の3障がいの人達が協働して各種イベント・催事に参加、地域の人達と交流を図ってまいりました。平成30年度は、11団体の担当職員で障がいを抱えた人たちが、地域で安心して過ごせるよう普及・啓発活動に努めてまいります。

【目的】

宮前区の障がい者施設・作業所相互の連携により障がいの地域生活を支援し、市民と共に地域福祉の発展と向上を目的としています。

【活動】

- ・障がいを抱えた当事者の自主活動や交流の支援を行う。
- ・障がい者施設・作業所等の自主製品の展示・販売を行う。
- ・障がい者と市民との交流を行う(各種イベント・催事の参加)

【会議風景】

この日は、福祉パル宮前の席上をお借りして「しあわせを呼ぶコンサート」や広報活動などについて入念に打ち合わせを行っていました。



【学習会活動】

昨年度は「3障がい」についてをテーマに各施設の取組み事例を「れいんぼう川崎」の会場をお借りして実践報告会が行われました。



取材を終えて・・・

以前、宮前連絡会の活動に関わっていたことを懐かしく思います。メンバーは、だいぶ様変わりしましたが今年度の活動について皆活発に意見を出し合っていました。

松浦会長にお話を聞くと、今年度は運営面でもかなり厳しいとのことですが、経費などを抑えたりして活動を維持し

ているそうです。地域と共に育むことを目指していますので、興味のある団体など、お気軽に宮前連絡会会長(☎044-865-8229 宮前ふれあいの家)までお問合せください。



皆さんはご存知ですか? ヘルプマーク

★ヘルプマークとは?

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマークです。神奈川県でも平成29年3月からこのマークを導入し、東京都と連携して普及に取り組んでいます。(「神奈川県ホームページ」より)

【ヘルプマーク】

きまつーでは以前、実際にヘルプマークを利用している方からお話を伺う機会がありました。初めは、マークを表に出さなくてもいいでしたが、見た目で見分かってもらえない辛さ、体調が悪いのに加えて罪悪感を抱える辛さを抱えつつも、ヘルプマークを知らない人に「見てもらう」「知ってもらう」「覚えてもらう」という啓発の意味も込めて、マークを付け始めました。又、直接声をかけることに抵抗がある時は、駅員や交番などに声を掛けて間接的に助ける方法もありますので、ヘルプマークを「知っている」ことが大切とおっしゃっていました。

★ヘルプマークをつけた方を見かけたら?

- ・電車・バスの中で、席をお譲りください。
- ・駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします。
- ・災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。

★誰がもらえるの?

ヘルプマーク配布対象者は、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方となっています。発達障害や、知的障害、精神障害を抱えている人も利用できます。

★どこでもらえるの?

「各区保健福祉センター 高齢・障害課」で受け取ることができます(平成29年12月4日現在)

お問合せ先

川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課
電話: 044-200-2653

